



第69回全日本大学対抗選手権自転車競技大会

2013年8月29日(木)～9月1日(日) トラック競技:青森県八戸自転車競技場(周長333.3m)

ロード競技:階上町公道周回特設コース

主催:日本学生自転車競技連盟 / 共催:(公財)日本自転車競技連盟 / 協力:青森県自転車競技連盟

協賛:(公財)JKA (公財)日本自転車競技会 (社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会

株式会社パールイズミ プリヂェストンサイクル株式会社 セイコータイムシステムズ株式会社

Communiqué-3rv



2013年8月24日

大会総務委員長 野村 有三郎

1. ロードレースコースの練習について

8月22日(木)、地域住民より、「2列走行で練習をしており交通ルールを守っていない」旨の苦情が入ってきております。ロードレースは警察の許可を取って試合を開催するものであることから、開催前にこのような苦情が出るようでは大会の運営に支障をきたしかねません。

ロードレースコースに限らず、公道での練習においては交通ルールを守り、地元住民とトラブルを起こすことのないよう願います。主催者側で交通ルールを厳守できていない事象が確認できた場合、当該選手・チームにペナルティを課すこととし、最悪の場合、当該選手・チームの出走を認めないこともありますので、注意願います。

2. 練習時間割について

8月28日(水)～8月31日(土)の練習時間は、グループ分けをして実施します。それ以外の時間帯は主催者では借用をしておりません。大会主催者としては事故等において責任を負いかねます。

トラック競技の練習時間帯については、救護員の配置はありません。大会本部では医療行為等の必要な事故等には対処できませんので、そのことを前提として了解した学校のみ、練習走行を認めることとします。

	八戸自転車競技場 開閉門時間	Aグループ	Bグループ	Cグループ	制限なし
28日	9:00～18:00 午前中は一般開放	13:00～14:00	14:00～15:00	15:00～16:00	12:00～13:00 16:00～17:00
29日	7:30～18:00	10:15～11:00	8:45～9:30	9:30～10:15	8:00～8:45
30日	5:15～18:00	6:30～7:00	7:00～7:30	6:00～6:30	無し
31日	5:15～18:00	6:00～6:30	6:30～7:00	7:00～7:30	無し

練習グループ表 (数字はトラック競技参加人数)

Aグループ		Bグループ		Cグループ	
順天堂大学	12	法政大学	13	朝日大学	15
日本大学	12	中央大学	12	鹿屋体育大学	16
明治大学	12	立教大学	6	環太平洋大学	9
京都産業大学	7	日本体育大学	15	立命館大学	9
東北学院大学	9	早稲田大学	9	中京大学	9
関西大学	3	東海大学	8	新潟大学	6
慶應義塾大学	10	同志社大学	6	名古屋産業大学	2
東京大学	6	富士大学	4	山梨学院大学	2
京都大学	2	徳島大学	1	松本大学	1
北陸大学	2			大阪経済大学	3
				大阪産業大学	1
	75		74		73

指定グループ以外の大学が指定以外の時間帯に練習走行をして発覚した場合、当該大学に¥3,000-のペナルティを課し、それ以降の練習資格を剥奪しますので、各校で秩序ある練習をする様願います。



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/>



第69回全日本大学対抗選手権自転車競技大会

2013年8月29日(木)～9月1日(日) トラック競技:青森県八戸自転車競技場(周長333.3m)

ロード競技:階上町公道周回特設コース

主催:日本学生自転車競技連盟 / 共催:(公財)日本自転車競技連盟 / 協力:青森県自転車競技連盟

協賛:(公財)JKA (公財)日本自転車競技会 (社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会

株式会社パールイズミ プリヂェストンサイクル株式会社 セイコータイムシステムズ株式会社

Communiqué-3rv



3. 参加校受付について

参加校受付は、29日(木)の10時00分～10時45分の間、八戸自転車競技場内受付で行ないますので競技者ライセンスとユニフォームを持ってお越しください。特殊な事情で、この受付に間に合わない学校は、必ず事前連絡を入れてください。事前連絡無い場合、ペナルティーを課します(出場を認めないこともあります)。ロード競技のみに参加する選手については、8月31日(土)八戸自転車競技場、大会受付にて、午後から競技終了までの間、トラック競技場で行います。

4. 八戸自転車競技場インフィールドへの出入り及びフィールド内テントの設営について

大会期間中、インフィールドへの出入りは管理建物の地下通路のみとします。走路からの選手、チーム関係者のフィールド内への入場は禁止します。競技中は役員の指示に従ってください。インフィールド内で声を出しての応援等は認められません。

大会期間中、フィールド内に次の条件の下で各校テントの設営を認めます。

- ① テントは各校1張りのみ許可します。
- ② テントサイズは縦:横:高が300cm:300cm:200cm以下のもののみ許可します。
- ③ テントの高さは競技運営の支障にならないようテント上端が走路より高くなならないようにすること、またテントウエイト等のオモリを各校で用意し、措置する事。
- ④ 天候の予期せぬ急変により、テントが吹き飛び走路を傷つける恐れがあるため、設置したテントは布部分を必ず外して脚をたたんで帰ること。順守できない大学にはペナルティを課す。
- ⑤ フィールド外テントも上記④同様の措置を取ること。

5. チーム車の駐車について

トラック競技期間中の、各チームの車両については、八戸自転車競技場併設の東テニスコート脇駐車場に駐車して下さい。

◇一般車両も入庫しますので、駐車場内でのトラブルを起こすことの無い様、十分気を付けて下さい。

尚、駐車場内でのトラブルについては当事者間で解決して下さい。

◇閉門時間までにチーム関係者(サポート含む)は駐車場から車を退出して下さい。駐車場内に機材を置いたままにする事や、場所取りは認められません。

◇運動公園の駐車場での、自転車走行は厳禁とします。

◇**なお路上での車の駐車は、地域の住民・関係者等に大変迷惑をきたすので、絶対にしないでください。**

こうした迷惑行為が発覚した場合には、該当チームに対し3,000円/件のペナルティーを課します。

6. 自転車の保管について

タンデム自転車のみは、8月28日(水)午後より、八戸自転車競技場の管理建物にて預かることが可能ですが、紛失、故障、盗難等主催者、施設側は一切責任を負いません。

ただし、その他の自転車並びに機材の保管は致しません。

7. レース出場選手の大会運営への協力義務について

次の走者は、前のレースの終了時点までに、スタート地点付近にて各自待機して下さい。

本件に関しての放送・アナウンスは行いませんので、レースの進捗には充分注意して下さい。尚、他の選手と同時にスタート位置に付けない選手のスタートを認めないことがあります。

また、各レース開始の15分前までに必ずバイクチェックを済ませて下さい。15分を過ぎても未了の場合はレースから除外することがあります。



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/>



第69回全日本大学対抗選手権自転車競技大会

2013年8月29日(木)～9月1日(日) トラック競技:青森県八戸自転車競技場(周長333.3m)

ロード競技:階上町公道周回特設コース

主催:日本学生自転車競技連盟 / 共催:(公財)日本自転車競技連盟 / 協力:青森県自転車競技連盟

協賛:(公財)JKA (公財)日本自転車競技会 (社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会

株式会社パールイズミ プリヂェストンサイクル株式会社 セイコータイムシステムズ株式会社

Communiqué-3TV



8. ゴミ投棄厳禁の徹底

ゴミは、各校で必ず責任を持って持ち帰ってください。会場内でゴミのポイ捨てが発覚した場合には、3,000円/件のペナルティーを課します。

ロード競技においては補給区間および指定された区間においてのみ、ボトル、食料、包装紙等を道路の上に置くことができます。周辺のチームスタッフは、互いにその回収に協力してください。競技中に、上記区間外でのボトル、食料、包装紙などを、廃棄した競技者には、3,000円/件のペナルティーを課します。

9. 部旗等の持参について

開会式にて入場行進を行います。プラカードは主催者で用意します。

また、部旗を持っている学校は、各校で大会事務局まで持参してください(表彰式にも使用します)。

なお、前年度の総合優勝校(男子:日本大学、女子:鹿屋体育大学)は、前回の優勝杯と優勝旗(男子のみ)を忘れずに持参してください。

優勝(種目別・総合とも)を予定している大学は、校歌のCD(又はテープ)もご用意ください。

10. 監督会議(トラック)について

8月29日(木)午前11時より、八戸自転車競技場・管理棟前にて監督会議を行ないますので、各校の監督及び代表者は出席してください。

11. 監督会議(ロード)について

8月31日(土)トラック競技終了後、八戸自転車競技場・管理棟前にて監督会議を行ないますので、各校の監督及び代表者は出席してください。

12. 女子選手の着替場所について

管理棟2階を用意しておりますので、そちらをご利用ください。

13. その他

管理棟内への選手・チーム関係者の立ち入りを禁止します。選手・チーム関係者は運動公園内の2箇所の公衆トイレをご利用ください。

14. 本部連絡先学連事務局携帯 080-4159-2712

以上



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/>



第69回全日本大学対抗選手権自転車競技大会

2013年8月29日(木)～9月1日(日) トラック競技:青森県八戸自転車競技場(周長333.3m)

ロード競技:階上町公道周回特設コース

主催:日本学生自転車競技連盟 / 共催:(公財)日本自転車競技連盟 / 協力:青森県自転車競技連盟

協賛:(公財)JKA (公財)日本自転車競技会 (社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会

株式会社パールイズミ プリヂェストンサイクル株式会社 セイコータイムシステムズ株式会社

Communiqué-4rv2



2013年8月24日
大会審判長 大島 環

1. 自転車競技に使用する機材の規則遵守について

本大会で使用する自転車の寸法は、競技規則に従うことを原則とする。ただし部材断面の比率が1:3以下であることを規程する条項を充足するために、付加物を追加して固定することは、本大会については金銭ペナルティ(大会参加料と同額)を付して認めることとする。

この措置は他の大会の前例となるものではなく、また、競技者自身による付加物の追加は原則として認めていられない例外措置であることを予め承知おき頂きたい。

なお、本件については、JCFのWEBサイトに於いて、2013年8月18日付けで掲載がありましたので、転載します。

件名:自転車競技に使用する機材の規則遵守について

自転車競技は基本的に競技者のヒトとしての能力を競うものであり、使用する機材の性能を競うものではありません。そのための規則として、UCI規則第1部3章、JCF規則第5章16条などが定められています。これらの現行規則の原型は1990年代後半から2000年代にかけての改訂を経て整備されてきています。安全な乗車姿勢の保持を意図してさまざまな寸法規定が定められていますが、この規則の中にある部材断面の縦横比3対1以下という規定(JCF規則第16条3.d②、p27)は当時も今も変わりありません。

この規定に抵触するような機材は規則制定当初はあまり多くありませんでしたが、この十数年の間のカーボン素材を使用したフレーム、パーツの開発により、規則に適合しない製品も市販されるような状況になってきています。これに伴い競技前のバイクチェックも、この3対1規定に限らず、寸法規定全般について厳しく行うことが求められるようになってきました。

実際に競技の現場において規則適合違反が見つかり、機材の交換をせざるを得ない事例も国内外において次々に発生しております。

については皆さんが所有している、使用している機材について規則を遵守したものであるか点検した上で競技大会に参加するようにしてください。なぜなら機材が規則に適合していること保証することは、使用する競技者自身に課せられているからです。この3対1の規定はハンドル・バーやシート・ピラーに限らず、フォーク・ブレードやシート・ステーにも適用されます。この点検にはJCFウェブサイトに掲載してある「[UCI 技術規則の明確化ガイド](#)」が参考となりますので、一読してください。

規則に適合しない機材では、原則としてスタートすることを拒絶されます。またスタートしてしまってから適合違反が判明した場合には、レースから除外または失格とされます。規則に即した裁定の最終権限は現場のコミセールにあり、後日覆すことはできません。

日ごろの研鑽を示す場において残念な結果とならないように、適切な機材の準備をされるよう、重ねてお願いいたします。

以上



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/>



第69回全日本大学対抗選手権自転車競技大会

2013年8月29日(木)～9月1日(日) トラック競技:青森県八戸自転車競技場(周長333.3m)

ロード競技:階上町公道周回特設コース

主催:日本学生自転車競技連盟 / 共催:(公財)日本自転車競技連盟 / 協力:青森県自転車競技連盟

協賛:(公財)JKA (公財)日本自転車競技会 (社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会

株式会社パールイズミ プリヂェストンサイクル株式会社 セイコータイムシステムズ株式会社

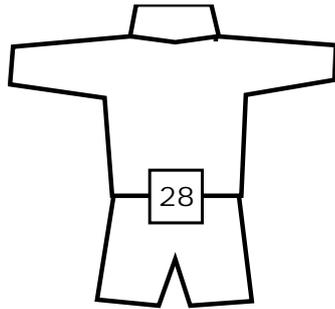
Communiqué-4rv2



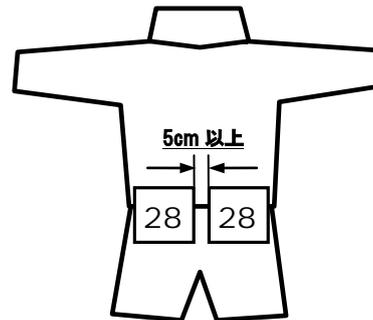
2. ゼッケンを付ける際に安全ピン、フレーム・プレート(ポイントレース、ロードレース)をつける際の結束バンド等の資材は、各自で用意してください。

※ボディーナンバー、フレームプレートの紛失、又は、大会終了日に返却できなかった者には、1枚1,000円のペナルティーを課す。

※ボディーナンバーを2枚付ける種目における取付位置は下図の通り。(トラック、ロード共通)



1km,500m タイムトライアル
パーシュート競技



上記以外のすべての種目(200mTTを含む)
(2枚の間隔を5cm以上離し、腰の低い位置に、出来るだけ見易く。)

3. (トラック競技)

- 別紙書式による「**参加選手・チーム役員一覧表**」を、競技開始前までに受付に、提出すること。
- タンデム・スプリント予選は、ホームストレッチ側をスタートし、5周を周回するうちの最後の1周を計時する。対戦にはいつてからは、競技規則通り5周で行う。
- 補欠起用は、所定の用紙により、競技番組開始60分前迄に、招集あて提出すること。
- 4KM 団体追抜、チームスプリントについて、**参加する全てのチーム**は出走する4名(3名)の競技者名・ゼッケン番号を、所定の用紙にて番組開始30分前までに受付に提出すること。
- フィールド内の立ち入りは、チーム監督1名のほか競技者1名につき1名以内とする。タイム系種目でフィールド内より指示を与えられるのは、1チーム1名のみとする。走路の見通しを確保するため、フィールド内での待機中は座ること。
- 招集は全種目の最初のラウンドのみで行う。この招集はチーム員等代理の者でも可とする。バイクチェックはすべての種目のすべてのラウンドで行う。選手本人が走る姿(ユニフォーム・ゼッケン・ヘルメット着用、自転車持参)で参集のこと。バイクチェック後にポジションの変更、トラック外への持ち出しは認められない。
- 異議申立は、原則として受け付けない。
- 表彰式に於いて、帽子、ヘアバンド、サングラスの着用、サンダル履きは認められない。
- トラック用ボディーナンバーはトラック最終日に返却すること。
- ロード用とトラック用でボディーナンバーの番号が異なるので十分注意のこと。



第69回全日本大学対抗選手権自転車競技大会

2013年8月29日(木)～9月1日(日) トラック競技:青森県八戸自転車競技場(周長333.3m)

ロード競技:階上町公道周回特設コース

主催:日本学生自転車競技連盟 / 共催:(公財)日本自転車競技連盟 / 協力:青森県自転車競技連盟

協賛:(公財)JKA (公財)日本自転車競技会 (社)全国競輪施行者協議会 (一社)日本競輪選手会

株式会社パールイズミ プリヂェストンサイクル株式会社 セイコータイムシステムズ株式会社

Communiqué-4rv2



4. (ロード競技)

a. 別紙書式による「**参加選手・チーム役員一覧表**」を、スタート30分前(8:00)までにサインシート・デスクに提出すること。チーム役員は選手1名につき2名を上限とする。

b. 補給区間に立ち入ることができるのは**チーム役員リストに記載され、かつIDカードを着用し下記の人数を満たすものに限る。ただし、男女ともにエントリーしているチームについては男女いずれかの選手の多いほうの補給スタッフ人数を上限とする。**

参加選手1～4名:2名

参加選手5～6名:3名

参加選手7～8名:4名

c. サインシートの署名は、スタートライン横に於いて、男子・女子共に7:45～8:15に行う。走る姿(ユニフォーム・ヘルメット着用、自転車持参)で参集すること。

d. スタート後、約5KMはパレード走行とし、審判車緑旗の合図によって正式スタートとする。

e. 飲食料の補給は、フィニッシュ手前350M～150Mの標識表示された区間の左側より認める。

男子:3周回目完了時(スタート後約42Km)から11周回目完了時(スタート後約154Km)迄

女子:3周回目完了時(スタート後約42Km)から**5**周回目完了時(スタート後約**70**Km)迄

f. 共通器材車によるニュートラルサービスは、男子は四輪2台・女子は四輪1台により行う。共通器材車のホイールは主催者にて用意をするが、自ら用意した車輪を共通器材車に載せることを希望する学校は、共通器材車に載せられた車輪が、状況により供出者本人に必ずしも渡すことは保証されず、他の競技者により使用されることがあり得ることを予め承のうえ、チーム名を明記し、競技当日スタート30分前までに、スタート地点・サインシート台付近まで持参すること。

g. 地上からのチームによる器材の交換は、事前に登録したチーム役員のみにより指定された場所に於いてのみ認める。器材の交換は、原則として左側に停車して行うこと。飲食料補給場所近辺での器材交換は、補給ゾーン入口側で行うこと。指定場所は、補給区間入口、地点9、地点14とする。

h. 原則として先頭から10分遅れとみなされた選手は失格とする。レース前半においては5分程度にて打ち切りを行う。遅れが10分未満であっても、コミッセルが完走不可能と判断した選手は失格とする。失格となった選手は、安全な場所で一旦停止し、腰ゼッケンを自分で外して自力で戻ることを原則とする。逆走は認められない。フレームプレートはレース終了まで外してはならない。

i. 自ら途中棄権をした競技者は、フィニッシュ地点の審判員に棄権したことを必ず申告すること。

j. 女子が男子に、または男子が女子に追走することは認められない。

k. 異議申立は、原則として受け付けない。

l. 表彰式に於いて、帽子、ヘアバンド、サングラスの着用、サンダル履きは認められない。

m. ボディーナンバー、フレームプレートは大会終了後に大会本部まで返却すること。ボディーナンバー、フレームプレートの紛失、未返却には1000円のペナルティーを課す。

以上



レースの結果はホームページでも公開しています。 <http://www.remus.dti.ne.jp/~jicf/>